

履 歴 書

*は記入不要

*技能検定委員選任基準

☐ 随時2級 ☐ 随時3級 ☐ 基礎級 (該当に☑)

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

推薦団体 事業所名 ※1				
検定職種・作業名 (担当する試験の名称) ※2	職種名	作業名	職種名	作業名
		作業		作業

●個人データ ・携帯電話がない場合は自宅電話番号をご記入ください

ふりがな			生年月日		年齢
氏名	姓	名	昭和 平成	年 月 日	歳
自宅住所 電話番号	〒 - 携帯 () -				
最終学歴 (訓練歴)	学校名		学部・学科		卒業年月
					年 月 卒業

●技能検定委員選任要件 (所定年数以上の実務経験が主な選任基準となります。②③は必ずご記入ください。)

①職種(作業)に関する技能検定・職業訓練指導員免許 合格(取得)			
技能検定 ☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 指導員免許 / 合格都道府県 ☐ 愛知県 ☐ その他 (該当に☑)			
職種名	作業名	合格年月	合格番号
	作業	年 月	第 号

②所属企業等

現在所属している企業名等をご記入ください。企業名欄：個人事業主は「個人事業主(屋号)」、無職は「なし」

企業名			部署・役職名	
所在地 ※無職の方は記入不要	〒 - 電話 () -			

③担当作業に関する実務経験・学識経験 (作業名は技能検定作業名を記入してください) ※3

作業名	所属企業名	期間	年数
作業		年 月 ~ 年 月	年 か月
作業		年 月 ~ 年 月	年 か月
作業		年 月 ~ 年 月	年 か月

④作業に関する役職(管理・技術・教育部門の課長級以上)

役職名	期間
	年 月 ~ 年 月

●技能検定委員就任承諾署名

私は、職業能力開発促進法を遵守し、愛知県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。	
令和 年 月 日	氏名(自署)

※1 監理団体等の名称を記入してください。(技能検定実施計画書の提出者の名称)

※2 一般的な職種名でなく、担当する技能検定の職種名・作業名を記入してください。(例)製造技術 × → ○○作業

※3 複数の企業で担当作業に関する実務経験がある場合は、企業ごとにご記入ください。(行数が不足する場合は別紙に作業名・所属企業名・期間・年数を記入し、添付してください。等級ごとの必要な実務経験年数は選任基準をご参照ください)

提出は原本でなくコピーやPDFデータでもかまいません。

記入例

履歴書

*は記入不要

*技能検定委員選任基準						
1	2	3	4	5	6	7
						記入不要

☐ 随時2級 ☒ 随時3級 ☐ 基礎級 (該当に☑)

推薦団体 事業所名 ※1	能力開発協同組合			監理団体名等(技能検定実施計画書)の申込者の名称を記入		
検定職種・作業名 (担当する試験の名称) ※2	職種名	作業名		【入力の場合】 様式の左側枠外の入力操作手順に従って入力してください。(直接入力できません) 【手書きの場合】 実施する技能検定の作業名を記入してください。 製造技術 × ➡ 普通旋盤作業 足場作業 × ➡ とび作業		
	機械加工	普通旋盤 作業				
●個人データ ・携帯電話がない場合は自宅電話番号をご記入ください						
ふりがな	あい	ち	たろう			
氏名	姓 愛知	名 太郎	昭和			
自宅住所 電話番号	〒 462 - 〇〇〇〇 名古屋市北区〇〇町〇〇 携帯 (090) 1234 - 〇〇〇〇					
最終学歴 (訓練歴)	学校名		学部・学科		卒業年月	
	〇〇〇学校		〇〇科		平成 〇〇 年 3 月 卒業	

●技能検定委員選任要件 (所定年数以上の実務経験が主な選任基準となります。②③は必ずご記入ください。) [選任基準はこちら](#)

①職種(作業)に関する技能検定・職業訓練指導員免許 合格(取得)			
技能検定	☒ 1級 ☐ 2級 ☐ 指導員免許 / 合格都道府県	☐ 愛知県 ☐ その他 (該当に☑)	
職種名	作業名	合格年月	合格番号
機械加工	普通旋盤 作業	令和 2 年 10 月	第 20-1-006-23-1234 号
②所 現 資格をお持ちの方 該当の内容に☑チェックしてください			
企業名	(株)愛知開発	部署・役職名	代表取締役
所在地 ※無職の方は記入不要	〒 451 - 〇〇〇〇 名古屋市西区〇〇一丁目〇番〇号 電話 (052) 987 - 〇〇〇〇		
③担当作業に関する実務経験・学識経験 検定委員を務める試験の作業に係る実務経験年数をここで確認します。			
作業名	所属企業名	期間	年数
普通旋盤 作業	(株)愛知開発	令和 2 年 4 月 ~ 令和 8 年 8 月	6 年 4 か月
普通旋盤 作業	(株)名古屋開発	平成 21 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	11 年 0 か月
作業		月 ~ 年 月	年 月
④作業に関する役職(管理・技術・教育部門の課長級以上)			
役職名		年 月	
		年 月	

●技能検定委員就任承諾署名

私は、職業能力開発促進法を遵守し、愛知県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。

令和 8 年 8 月 26 日

氏名(自署) 愛知 太郎

本人の自筆に限りません。

※1 監理団体等の名称を記入してください。(技能検定実施計画書の提出者の名称)

※2 一般的な職種名でなく、担当する技能検定の職種名・作業名を記入してください。(例) 製造技術 × → 〇〇作業

※3 複数の企業で担当作業に関する実務経験がある場合は、企業ごとにご記入ください。(行数が不足する場合は別紙に作業名・所属企業名・期間・年数を記入し、添付してください。等級ごとの必要な実務経験年数は選任基準をご参照ください)

技能検定委員の選任基準

技能検定委員の選任に先立ち、監理団体（事業所）様から下記に記載された選任基準に該当する方を推薦していただきます。所定の履歴書による書類確認の上、当協会の会長が選任します。

なお、受検者が所属する企業の方は選任できないことをご承知ください。

ただし、OB・OG等、現在当該企業に所属していない方は選任できます。

※基礎級又は随時3級の試験において技能検定委員を務めた実績がある方であっても、その実績等級より上位級の試験の委員として初めて推薦いただく場合は、改めて所定の履歴書をご提出いただきます。

ア 基礎級の技能検定委員（次のいずれかに該当する方）

- (1) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種の特級、1級又は2級の技能検定に合格した方（技能系）
- (2) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種に関し、10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する方（技能系）
- (3) 事業所等において、当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった方（技術系）
- (4) 短期大学（高等専門学校及び旧専門学校を含む。）以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練、長期課程又は、短期養成課程若しくは長期養成課程の指導員訓練において、当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種に関する学科を修めて卒業又は修了した方（学識系）
- (5) 当該検定職種又は当該検定職種に関する職種の職業訓練指導員免許を有する方
- (6) 国、都道府県、中央職業能力開発協会又は都道府県職業能力開発協会において、技能検定の実施の実務に5年以上従事した方
- (7) 上記（1）から（6）に掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する方

※ 当県では、基礎級の選任基準（3）から（6）までに該当する方については、基礎級選任基準（2）と同等の技能又は技術を有することを条件としています。

イ 随時 3 級の技能検定委員（次のいずれかに該当する方）

- (1) 当該検定職種(作業)の特級、Ⅰ級の技能検定に合格した方であって、当該検定職種(作業)に関して5年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する方は、又は当該検定職種(作業)の2級の技能検定に合格した方であって、当該検定職種(作業)に関し 10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する方（技能系）
- (2) 事業所等において、当該検定職種（作業）に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある方又はこれらの地位にあった方で、特級、Ⅰ級に合格した方と同等以上の技能又は技術を有する方（技術系）
- (3) 短期大学(高等専門学校及び旧専門学校を含む。)以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練(旧養成訓練含む。)、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練又は指導員養成課程若しくは高度養成課程の指導員養成訓練(旧指導員訓練を含む。)において、当該検定職種(作業)に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後当該検定職種（作業）に関し 5年以上の学識経験を有する方（学識経験には、学校、職業能力開発校（旧職業訓練校を含む。）、職業能力開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む。）で特級、Ⅰ級に合格した方と同等以上の技能又は技術を有する方（学識系）
- (4) 上記（1）から（3）までに掲げる方と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する方

ウ 随時 2 級の技能検定委員（次のいずれかに該当する方）

- (1) 当該検定職種（作業）の特級、Ⅰ級の技能検定に合格した方であって、当該検定職種（作業）に関して 15年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する方（技能系）
- (2) 事業所等において、当該検定職種（作業）に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある方又はこれらの地位にあった方で、特級、Ⅰ級に合格した方と同等以上の技能又は技術を有する方（技術系）
- (3) 短期大学(高等専門学校及び旧専門学校を含む。)以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練(旧養成訓練含む。)、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練又は指導員養成課程若しくは高度養成課程の指導員養成訓練(旧指導員訓練を含む。)において、当該検定職種(作業)に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後当該検定職種（作業）に関し 10年以上の学識経験を有する方（学識経験には、学校、職業能力開発校（旧職業訓練校を含む。）、職業能力開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む。）で特級、Ⅰ級に合格した方と同等以上の技能又は技術を有する方（学識系）
- (4) 上記（1）から（3）までに掲げる方と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する方

年齢・卒業早見表【令和8年度】

生 年	年齢	中学卒	高校卒	大学卒	生 年	年齢	中学卒	高校卒	大学卒
昭 22 (1947)	79	昭 38	昭 41	昭 45	昭 49 (1974)	52	平 2	平 5	平 9
昭 23 (1948)	78	昭 39	昭 42	昭 46	昭 50 (1975)	51	平 3	平 6	平 10
昭 24 (1949)	77	昭 40	昭 43	昭 47	昭 51 (1976)	50	平 4	平 7	平 11
昭 25 (1950)	76	昭 41	昭 44	昭 48	昭 52 (1977)	49	平 5	平 8	平 12
昭 26 (1951)	75	昭 42	昭 45	昭 49	昭 53 (1978)	48	平 6	平 9	平 13
昭 27 (1952)	74	昭 43	昭 46	昭 50	昭 54 (1979)	47	平 7	平 10	平 14
昭 28 (1953)	73	昭 44	昭 47	昭 51	昭 55 (1980)	46	平 8	平 11	平 15
昭 29 (1954)	72	昭 45	昭 48	昭 52	昭 56 (1981)	45	平 9	平 12	平 16
昭 30 (1955)	71	昭 46	昭 49	昭 53	昭 57 (1982)	44	平 10	平 13	平 17
昭 31 (1956)	70	昭 47	昭 50	昭 54	昭 58 (1983)	43	平 11	平 14	平 18
昭 32 (1957)	69	昭 48	昭 51	昭 55	昭 59 (1984)	42	平 12	平 15	平 19
昭 33 (1958)	68	昭 49	昭 52	昭 56	昭 60 (1985)	41	平 13	平 16	平 20
昭 34 (1959)	67	昭 50	昭 53	昭 57	昭 61 (1986)	40	平 14	平 17	平 21
昭 35 (1960)	66	昭 51	昭 54	昭 58	昭 62 (1987)	39	平 15	平 18	平 22
昭 36 (1961)	65	昭 52	昭 55	昭 59	昭 63 (1988)	38	平 16	平 19	平 23
昭 37 (1962)	64	昭 53	昭 56	昭 60	昭 元 (1989)	37	平 17	平 20	平 24
昭 38 (1963)	63	昭 54	昭 57	昭 61	平 2 (1990)	36	平 18	平 21	平 25
昭 39 (1964)	62	昭 55	昭 58	昭 62	平 3 (1991)	35	平 19	平 22	平 26
昭 40 (1965)	61	昭 56	昭 59	昭 63	平 4 (1992)	34	平 20	平 23	平 27
昭 41 (1966)	60	昭 57	昭 60	平 元	平 5 (1993)	33	平 21	平 24	平 28
昭 42 (1967)	59	昭 58	昭 61	平 2	平 6 (1994)	32	平 22	平 25	平 29
昭 43 (1968)	58	昭 59	昭 62	平 3	平 7 (1995)	31	平 23	平 26	平 30
昭 44 (1969)	57	昭 60	昭 63	平 4	平 8 (1996)	30	平 24	平 27	平 31
昭 45 (1970)	56	昭 61	平 元	平 5	平 9 (1997)	29	平 25	平 28	令 2
昭 46 (1971)	55	昭 62	平 2	平 6	平 10 (1998)	28	平 26	平 29	令 3
昭 47 (1972)	54	昭 63	平 3	平 7	平 11 (1999)	27	平 27	平 30	令 4
昭 48 (1973)	53	平 元	平 4	平 8	平 12 (2000)	26	平 28	平 31	令 5

履歴書は全て和暦（昭和・平成・令和）で記入してください。